

# 解 答 速 報

## 大阪医科大学(前期) 英語

2020年 2月11日実施

### 問題 I

- (1) しかしながら、資源が無尽蔵ではない以上、頭を使って、手持ちの資源を使ってどう利益を最大化すべきかを考え出すことは、実に思いやりのある行為なのである。
- (2) 膨大と思われる数字を用いることで、そして慈善団体やメディアを通じて絶えず報じられる人々の苦しむ姿も相まって、人々の世界観は歪められることになる。
- (3) 420 万人という 2016 年の乳児死亡数は、数字だけ見ると大きく見えるが、実は過去最小の数であるから。(50 字)
- (4) しかしながら、どのように行動すべきか、そしてどこに資源を優先して投入すべきかを知るためには、冷静な頭で計算し、何が有効で何がそうでないかを認識すること以上に重要なことはないのだ。

### 問題 II

- (1) このように、インターネットを何かしら際限なく広がり、自由に探索できる場所と見なすことは、ひょっとすると浅はかで傲慢なことかもしれないが、英語話者であれば、そうした特権意識を持つことにも全く理由がないとはいえない。
- (2) もしあなたの使う言語が消滅の危機に瀕しているなら、インターネット上でも使われなくなる可能性がある。インターネットは見たところ、際限なく広がるどころか、言語と同じだけの広がりしか持たないのだ。
- (3) しかしながら現時点では、言語という観点から見ると、インターネットは何人も受け入れ、等しく利用可能な公共スペースであるという主張は、ますます空虚なものと思われる。

### 問題Ⅲ

- (1) These ideas, based on the premise that either brain has peculiar properties, have contributed to the formation of the stereotype that every boy is scientifically-minded and logical while girls are emotional and unfit for science.
- (2) Such a biased perspective derives from ancient beliefs in sex differences, and has hindered people from judging individuals on the basis of their personality.
- (3) Advances in brain science over the last thirty years, however, have revealed that our brain function can change throughout our lives, according to various factors, such as living environment, education, jobs, and hobbies.

### 講評

- I [和訳] : (標準) : 正しい数字の評価に基づく医療資源の適正配分に関する英文。内容として抽象性が高いわけではなく、大阪医科大学で問われることの多い論点が多く含まれた標準的問題といえる。
- II [和訳] : (標準) : 使用言語と情報格差に関する英文。構造を正しく分析するとともに、日本語として意味が通るよう訳語を工夫する必要がある。内容理解の精度が構造分析や訳語の選択に大きく影響する。
- III [英訳] : (標準) : 脳科学がテーマ。全体の記述量は増加している。文内容を正確に読みとることができれば、構造は比較的容易に構成できる。幅広く標準的な表現、語彙が問われており、日頃の学習の蓄積で大きな差が出る良問。

大問構成は例年通り 3 題。大問 I で昨年度に続き説明問題が出された。大問 II は構造、語彙ともにやや難しく差がつきやすい。全体としては昨年並み。目標は 60%

**メルマガ無料登録で全教科配信！** 本解答速報の内容に関するお問合せはメビオ ☎0120-146-156 まで

☎ 03-3370-0410

受付時間 8~20時 土日祝可  
<https://yms.ne.jp/>  
東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ 0120-146-156

携帯からOK 受付時間 9~21時 土日祝可  
<https://www.mebio.co.jp/>  
大阪府中央区石町2-3-12ベルヴォア天満橋